

2021年3月吉日

各連携施設

誤接続防止コネクタ導入 ご担当者様

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
センター長 医療安全対策室長 許 俊鋭

経腸栄養分野 誤接続防止コネクタの導入に関するご案内

拝啓 貴施設におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度当センターでは、厚生労働省発出の「相互接続防止コネクタに係る国際規格の導入について」を受け、経腸栄養分野の誤接続防止コネクタ製品（ISO80369-3）を導入する運びとなりました。連携施設間での混乱を避けるため、当センターでの導入状況について貴施設と情報共有したく存じます。

別添の資料をご確認いただき、職員の皆様への周知の程、よろしくお願い申し上げます。尚、ご不明点がございましたら以下の問い合わせ先までご連絡ください。

敬具

<問合せ先>

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
医療安全対策室 西川
電話：03-3964-1141（代表）

【経腸栄養分野】誤接続防止コネクタの導入に関するご案内

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
厚生労働省通知を受け、経腸栄養分野の誤接続防止コネクタ製品を導入する運びとなりました。
円滑な施設間連携を図るため、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

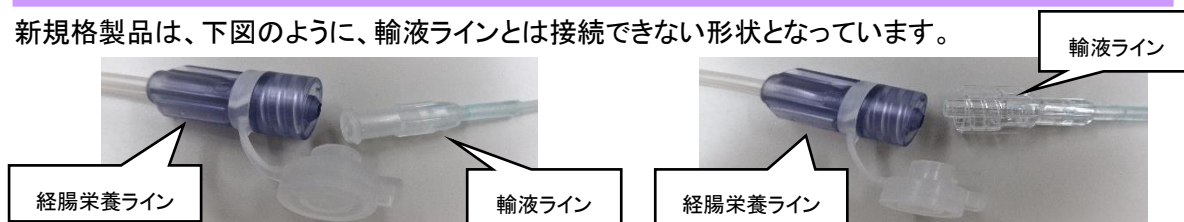
当センターの製品切り替え予定

2021年4月1日(木)より新規格製品(ISO80369-3)へ切り替えます。

※コネクタの色は、既存製品の黄色から紫色へ統一変更となります。

今後の対応について

新規格製品は、下図のように、輸液ラインとは接続できない形状となっています。



切り替え日以降に経腸栄養カテーテル留置処置を行った患者様は、
下図の「新規格製品 オスコネクタ」の製品を使用し、当センターより転出となります。



このタイプの製品に接続するためには、以下①②のどちらかで対応する必要があります。

- ①「新規格製品 メスコネクタ」の製品を直接接続する
- ②「変換コネクタ typeA」を介して、既存規格オスタイプの製品と接続する

※新規格製品の供給の都合上、一部製品は既存規格を使用して転出する場合があります。



連携施設様へのお願い

貴施設様におかれましては、ISO規格製品、もしくは、変換コネクタをご準備いただきますよう、
お願い申し上げます。